忘れもの

原民喜

青空文庫

ポストのところまで歩いて行くと、彼はポケットから手紙を取出した。そして何だか変だとは思ひながら、ポストの口へ入れて行ったが、指を離した瞬間、はっと気がついて顔を歪めた。切手がまだ貼ってなかったのだ。馬鹿。あの手紙を受取る里の親達は嘸、馬鹿と彼のことを云ふだらう。結婚して半年、まだ職に就けない彼なのだ。そして今日も職のことで先輩を訪はねばならない日だった。焦々しながら、ぼんやりしてゐた。

自動車や電車に轢かれる人の大部分は、金の心配をして歩いてゐる人間だ——と誰かが云った。気をつけなければいけなかった。今日も職のことはすらりと駄目になったが、そのかはり、君の細君へとどけて呉れ給へと、先輩は鮎の佃煮を彼に渡した。その包みを左手に持って電車に乗ったのだが、夕刊を読むために網棚にその包みを放った。そして一駅乗り過して周章てて降りた時、左手には新聞だけ持ってゐた。彼は重苦しい気分で大廻りして家へ戻った。

妻は大分前から彼の帰りを待ち詫びてゐた。「大変よ、今日、始めてわかったの。」と、それから後は彼の耳に何か囁いた。その瞬間、彼も大変な表情をした。これもまた忘れものには違ひなかった。しかし忘れものと、妊婦と、一体何の関係があるのか、と彼はぼんやり憤りに満ちてゐた。

青空文庫情報

底本：「普及版　原民喜全集第一巻」芳賀書店
　　1966（昭和41）年2月15日初版発行
入力：蒋龍
校正：伊藤時也
2013年1月24日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

忘れもの

原民喜

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/